

全労金2021春季生活闘争ニュース・第27号

【全労金2021春季生活闘争統一スローガン】
今こそ全国の仲間と思いをひとつに！心は密に団結を！

《合意速報No. 11》

新潟労組が金庫との団体交渉で、「基本合意」を表明しました！

新潟労組は、3月16日14時から、金庫と「団体交渉」を開催し、基本合意を表明しました。要求と回答は以下の通りです。

	新潟労組				新潟労組			
	要 求				回 答			
	正職員	準職員A・B	準職員C (フルタイム)	準職員C (パートタイム)	正職員	準職員A・B	準職員C (フルタイム)	準職員C (パートタイム)
年間一時金	4.8	3.0	1.44	1.44換算	4.8	3.0	1.44	1.44換算
昨年実績	4.8	3.0	1.44	1.44換算	4.8	3.0	1.44	1.44換算
職場環境 所定労働短縮	要求 (小学校卒業まで)				要求には応じないものの、育児休職規程のただし書き「止むを得ない事情」を削除する。			

団体交渉において、金庫からは「要求書を受け取る際にも申したが、今後の金庫経営は、決して楽観視できるものではない。将来につけを回さないためにも、今をしっかりと取り組んでいかなければならない。金庫としては、職員全員の生活安定を重点課題と認識しており、現在労使で扱っている手当等の課題整理など、引き続き安心して働ける環境の改善・整備を進めていきたい。労使の信頼関係は、対等・自治があり、双方が自らの責任と権限を踏まえ、やるべきことをきちんとすることで成り立つ。どちらか一方が欠けてはならない。就業規則や労使協定がある中で、日ごろの業務にあたっているが、時として、残念ながら働くルールを外れたことが起きることがある。部店長をはじめ管理職や監督職には、金庫の責任でルールを踏まえた事業運営を徹底させる。問題事象は、現場（各職場）で起きる。職員・組合員が働く場、現場に一番近いところできちんと対応することが、求められる。その意味では、職場労使（支部労使）が、機能することが必要だ。職員一人ひとりが、ワークルールを理解し、労使の取り組みを通じて、問題の芽を摘めるよう、取り組んでいきたい」等の見解が表明されました。

川上闘争委員長は、「今春闘は、職員・組合員の生命と健康を最優先として、回答期限日までの妥結を強く意識して交渉を続けてきた。限られた時間・環境のなかで、金庫には精力的に交渉に応じていただいたことに対して感謝する。年間一時金については、感染拡大による経済情勢の悪化が金庫経営にも大きく影響しているなかで、日々感染防止対策を徹底しながら職場を守り、労働金庫の役割である勤労者の生活支援を続けてきた職員・組合員の努力と奮闘を評価いただいたものとして受け止めている。ただ、今の金融機関を取り巻く状況を考えれば、賃金・一時金に関しては今後も労使で対話を進めていかなければ

ならないと思っている。決して今の労働金庫が置かれている状況を軽く見ている組合員は一人としていない。そこを共通認識としながら、労働金庫が今後どうしたら持続・発展していけるのかの観点で、本音の議論をしていきたい。もう一点、育児に伴う所定労働時間の短縮措置の拡大については、仕事と育児を両立する職員・組合員が少しでも悩まずに不安なく働き続けることができるように、そしてその能力を最大限発揮できるように、そうした思いでここ数年の春闘で要求を掲げ続けてきたが、今春闘でも金庫と同じ課題認識にたてなかったことは正直残念、悔しいという気持ちである。しかしながら、職員が制度を利用しやすくなるように、制度の運用を一部改善するという事で、私たち組合員の声を聞き入れていただいたと思っている。最後に、立場が違う労使が労働金庫という共通の基盤にたち、その関係を続けていくためには、互いに弛まぬ努力が必要であると改めて感じている。労働組合としても、環境が目まぐるしく変化するなかで悩みながらも、引き続き原点である職場・組合員の声を聞いていきたい。先が見えないこのような時こそ、労使がしっかり対話していくことが必要であり、厳しい状況を労使の協力で乗り越えた先に、真の組織風土、労使信頼関係が生まれるものと思っている。今後も労使の対話、本音の議論の必要性を共通の理解としていくことをこの場で確認し合いたい。本回答を、責任をもって受け止め、2021年度も労使で前を向いて取り組みを進めたい」等を表明しました。

単組は、①年間一時金は要求通りであること、②育児のための所定労働時間短縮措置は労組の主張を受け入れ、規程の表現を見直すこと、③今まで以上に制度取得をしやすい工夫をする考えが金庫から示されたこと、等から基本合意を表明しました。

*合意単組（9単組／3月16日18時30分現在）

近畿(金庫)・沖縄・長野・東北(金庫)・東北(関連)・北海道・北陸・東海(金庫)
東海(関連)・四国(金庫)・新潟

以 上